

Connect

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり
帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信



令和8年1月22日
NO.14 文責 菊谷



いのちの話～ぼくらのステキ発見 誕生日はね…自分の力を使って生まれてきた 「がんばった記念日」なんだよ。

自己理解・自己管理能力の育成を目指します。自分の成長のために進んで学ぼうとする力を育みます。

4年生のゆたかは、1年を通して様々な「ステキ」を発見していきます。地域のステキ発見、豊成のステキ発見。私たちは普段からたくさんのステキに囲まれて暮らしています。今回は「自分のステキ」を発見する学習でした。

生まれて10年の節目の年、命の大切さや自分の成長について考える貴重な時間を与えてくださったのが「いのちと性のひろば」を主宰する高田めぐみ先生です。

命の始まりは針の穴のほどの大きさで、その命は、誰に教えられるわけでもなく、羊水をきれいにしたり、おっぱいを飲む練習をしたりしているそうです。誕生の時には、様々なピンチを乗り越えて、自分の力を発揮して、家族に会いに来るのでした。高田さんは「みんなの誕生日は、自分の力を使って生まれてきた、がんばった記念日なんだよ。」と教えてくれました。



授業の後半、先生は、昔のローマの王様の実験のお話をしてくださいました。国中の赤ちゃんを集めて、「話しかけない」「抱っこしない」とどうなるかという実験です。この実験は失敗に終わりました。1歳まで1人も生きられなかつたという最悪な結果となりました。

みんなが10歳まで生きてこられたということは、みんなのそばには居たんじゃないかな?抱っこして、みんなの成長をとっても喜んで、たっぷり愛情を注いでくれた人が…その瞬間、いつも当たり前にいる家族の顔が浮かんだと思います。とても愛されて育ったことを感じたのではないかと思います。みんなの顔を見てそう感じました。

「みんなの命は、どの命も大切な一つの命。いらない命なんてないんだよ。そして、周りにいる友達の命もそう。みんなでみんなの命を大切にできる、そんな人になってほしい。」生命の尊重・家族愛・友情の大切さを教わったステキな1時間でした。



児童のふりかえり

- 私が生まれたとき、うれしくて泣いたとお父さんが言っていた気がしました。話しかけたり抱っこしないと赤ちゃんは死んでしまうとわかった。ということは、私も愛されて大きくなつたと思った。
- お母さんはぼくに会いたかったから痛いけど帝王切開したと思い、涙が出そうだった。
- 自分ではわからなかつたけど、おなかにいるとき、ピンチを乗りこえて生まれてきたのでその命を大事にしようと思う。